

## 農村ツーリズム展開方針

令和2年(2020年)8月17日  
日高振興局

## 1 地域の現状

- 日高地域は、本道の中央南西部に位置し、軽種馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパークのアポイ岳を含む我が国最大の国定公園である「日高山脈襟裳国定公園」や南北に約150km連なる日高山脈と襟裳岬に連なる変化に富んだ海岸線とが一体となった優れた景観など豊かな自然環境を有しています。また、国の伝統的工芸品として認定されたイタ、アットゥシを生んだアイヌ文化が継承されています。総面積は4,811.16km<sup>2</sup>と北海道の全面積の5.8%を占めており、和歌山県や福岡県にほぼ匹敵する広さです。
- 冬期間の最低気温は-10℃を下回ることが少なく、比較的温暖で積雪量も少ないことから積雪寒冷地帯である本道にあっては気候に恵まれた地域であり、全道一の生産量を誇るトマトやピーマンのほか、様々な農水産物が生産される多様な食材の宝庫となっています。さらに国内生産頭数の約80%を占める全国一の軽種馬生産地であり、平野部は優駿が草を食む牧歌的な風景が観光資源のひとつにもなっています。
- 桜並木観賞や温泉入浴のほか、世界有数の馬産地ならではの名馬観賞や乗馬などの体験型観光を目的として、年間約170万人(H30)の観光客が道内外から訪れています。

## 2 地域の抱える課題

- 管内の観光入込客数は4月～9月が全体の約70%(H30)を占め、また、日帰り客が全体の約90%(H30)を占めることから春季・夏季集中型の季節偏重及び通過型偏重の観光地となっており、地域資源を活用した滞在型観光の推進が求められています。
- 少子高齢化等による担い手の不足により、農家戸数及び漁業就業者数が年々減少し続けていることから、基幹産業である第1次産業や関連産業の担い手育成や確保が求められています。
- 管内の食品工業製造品出荷額等は約196億円(H29)で14(総合)振興局中13位、また、食品工業付加価値率(付加価値額/製造品出荷額等)は18.9%(H29)で14(総合)振興局中14位となっており、農林水産物における高付加価値化の推進が求められています。

## 3 今後の展開方針

- 他地域では見ることのできない景観や豊かな自然環境及び伝承文化、多様な食材などの優れた地域資源を最大限活用し、「ひだか」地域ならではの魅力を発信することで、交流・関係人口の拡大及び地域産業の振興を図ります。

## 【具体的展開】

- ・ 「ひだか」地域を支える農林水産物の生産振興対策の推進と担い手の育成・確保
  - ・ 農林水産物の高付加価値化の推進と販路開拓・拡大
  - ・ 「ひだか」地域における体験型及び滞在型観光や広域観光の推進
  - ・ 農家民泊の導入や修学旅行の誘致等を通じた道内外への地域の魅力発信
  - ・ 馬に加え、豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘
- 以上の取組を推進するため、国の農山漁村振興交付金等の事業制度の周知や関係者の助言・指導に努めるとともに、地域の課題解決のためのセミナーや勉強会等の開催、各地域の体制やモデルづくりについての助言等の必要な支援を行います。また、SNS等のツールの活用による情報発信や問い合わせ窓口の体制整備を進めます。